

vol.31

2018 年 2 月

からしだね



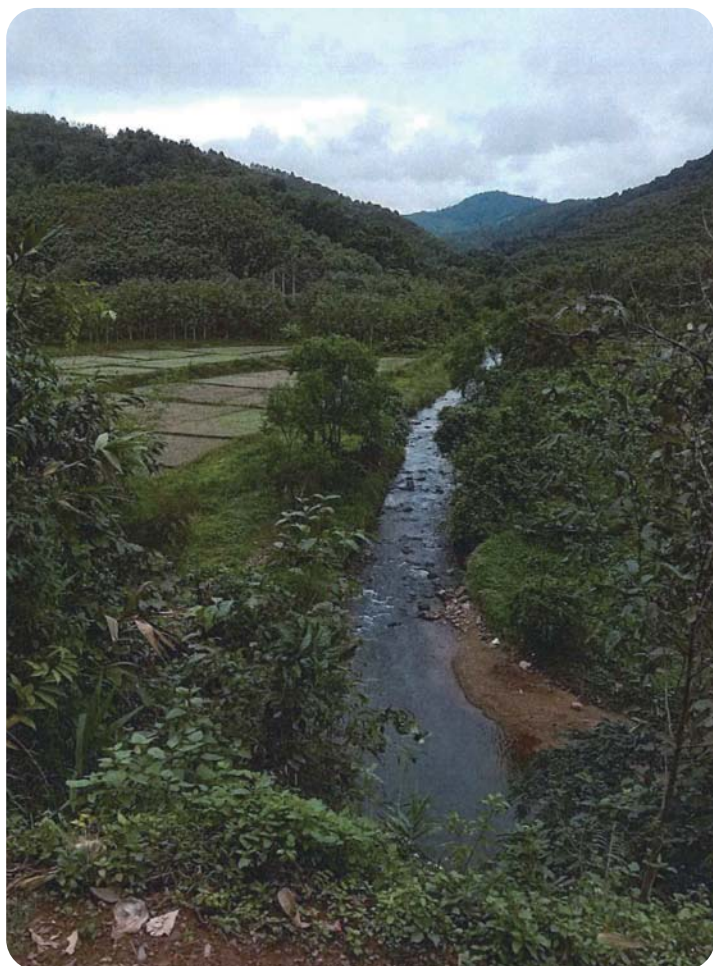
与える福祉ではなく、その人にとって必要なことをその人の自立に向けて支援する

こいしろの里 ホームページ公開中！
<http://betesta.org>

こいしろの里

検索





昔の日本にもあったような風景

ラオス国営航空でビエンチャンからプロペラ機にのりかえルアンナムタへ向かう。そこから車で4時間ほどかかったろうか。ムアンシンをめざす。この車の道程が懐かしくも凄い。道が整備されていないというより時おり穴ぼこがあって無理に眠ってやり過ごそうとする意識を吹き飛ばさせてくれる。日本ではこういう道は幼少の頃のかすかな記憶にしかない。ウルムチから上海までシルクロードも旅したが、まだそっちのほうがはるかに整備されていたね。

2018年の1月2日、そこラオスの道中は日本の四季でいうとまちがいなく真夏でしかも山岳地帯におけるおいしげった密林の中を続いていく道のりがあった。その途上で出会った旅の記憶から紹介したい。あたかもまったく関係のない世界において「福祉」という人間に共通する点が実際にどうなのかという考察はそれなりに意義があるかも知れない。



楽しそうだね

このあたりにはアカ族という少数民族の村々があるというが、アカ族以外にも各少数民族が生活しており言語もそれぞれに微妙に異なるらしい。私たちはここで学校や福祉施設に類するものの視察と称した旅というわけだ。日本からの観光客はめったに来ないという点がなんとなく心地よい。

さて、通訳の問題もあるかも知れないが、このあたりでは総じて日本でいう「知的障害」という概念は確立されていない。農業国であるこのあたりではそれは必要ない概念なのかも知れない。大家族で構成されている一族たちは、それぞれに役割分担を持っており、障害のある者は親族や一族たちでいっしょに生きている。これはフィリピンのセブ島でも同じであったが、おそらく地球規模でみると家族構成から社会の成り立ちまで、日本も含めてむしろ先進国と呼ばれる限られたごく一部の豊かと称されている地域のほうがそもそも不自然なのではと思えてくる。共に生きることが「共生」として求められる地域と、それを言い出す必要がないほどすでに共生で満たされている地域とでは、おそらく後者のほうが御心に沿った地域ではあるまいか。人間を疎外するシステムをつくり出した社会だからこそ、「福祉」という概念が必要とされるのではあるまいか。豊かさとは裏腹に優生思想で満たされた社会の歪さに対する理解はどうあるべきなのか。



学校の授業風景

こういう疑問が現地の人々とふれあってみると、
本当のところふつふつと湧いてくる。人としての普
遍的な価値基準についてゆさぶられる、そういう体
験は私たちにもっと必要ではあるまいか、改めて考
えさせられたラオスであった。

ポップ・カン・マイ (さようなら)



彼女はマキをかついで
2 時間かけて市場に出荷するという



学校の運動場で集まってきた子どもたち

秋のうまいもん祭り！

支援員 畑中裕香

11月5日に施設でうまいもん祭りを開催しました。牡蠣やホタテ、多国籍料理など様々な料理を出し、利用者さんと共に販売しました。

祭りの規模が年々と大きくなってきています！今回は三重高等学校ダンス部のパフォーマンスや、ヘリコプター離着陸デモンストレーションと展示、建設機械の展示などがありました。

ダンスではヒップホップのようなノリノリな歌でカッコよく踊って、利用者さんを興奮、盛り上げてくれました。踊ってくださったゲストさんもととてもいい顔をしており、見ているこちらも笑顔になりました。

利用者さんもヘリコプターを見て「すごいな！」と手を振ったり興味津々でした。いつもはもっと空の上を飛んでいるヘリコプターですが低く飛んで頂いたり、着陸して頂いたり、とても貴重な時間でした。ふだん間近で見る事が出来ないヘリコプターもこの日は間近で見る事が出来、いい体験になりました。

ドローンでの写真撮影もしました。その際ゆるきゃらも一緒に参加して、小さい子どもたちや利用者さんも興奮していました。いつもとは違った写真撮影の仕方に利用者さんも驚いていました。とても貴重で楽しい写真撮影が出来たと思います。



また、販売をしている利用者さんは大きな声で「これ美味しいよ」「いらっしゃいませ！」と言っていました。皆さん頑張って販売をしていました。

たくさんの料理が出されていました。どれもおいしく「もう一回食べたい！」と思う料理ばかりでした。お客さんも一度ならず二度三度……と買いにきてくださりました。販売が終わった後も、「売れたなあ」や「頑張ったで」と言って嬉しそうにしていました。

ヘリコプターは、日本ヘリシス株式会社様から格別のご厚意により来て頂きました。本当にありがとうございました。

ご協賛をいただいた皆様、誠にありがとうございました。



大迫力の 着陸



ドローン 撮影





↑セットメニュー
ドッグサンド2種類、サラダ、
ドリンク、スープのセット

2月1日よりぷらなのドッグサンドが
新しくなります!!
ぷらな独自の配合で具材に合うパンに
焼きあげました。
具材もすべて手作りで☆
セットメニューも新登場!!
ぜひお試しください。



新
ド
ツ
ゲ



恋

コ

コ

香りたかい発酵バターを使用し
生地をサクッと焼き上げました!!



チョコ 250 円
マルウ (MAROU) チョコ使用

まっचा 300 円
自家製抹茶を使用



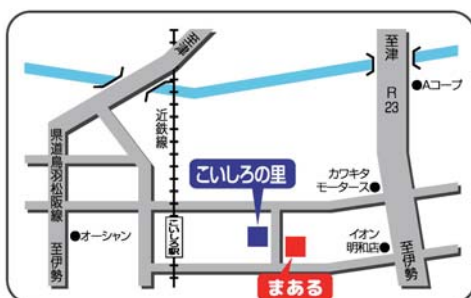
クリーム 250 円
濃厚 45% 生クリーム使用



パン&軽食

ぷらな

松阪市稲木町 1936-1
(障害者通所施設まある内)
TEL:0598-54-1508



※近鉄「湊代(こいしる)駅」から徒歩5分

パン&軽食『ぷらな』ではその人に合った作業内容で新たな可能性を求め、自立をめざします。働くことを通じて、社会生活の中で必要な挨拶やマナー、身だしなみ等の社会参加をサポートします。

♪就労支援B型利用者さんの声♪

ぷらなでは具材の調理や接客をがんばっています。たまにスーパーの露店販売にも行き楽しいです。お客さんに「美味しい」と言ってもらえる時がうれしいです☆

沢山のお客さんに来てもらえるようにこれからもがんばります!

12月16日に入所、在宅大人利用者対象のクリスマス会を開催しました。

まずは、ゆるきゃらでお馴染みのちゃちゃもが利用者さんをイベント会場まで一緒に誘導し、利用者さん全員で記念撮影をしました。そこから司会の「クリスマス会の始まりです」の合図でクリスマス会がスタートしました。毎年、クリスマス会の目玉である劇を始め、今年も職員が利用者さんや保護者の方々に楽しんでもらえるよう一生懸命出し物の練習を行いました。

いよいよクリスマス会の出し物が披露されます。ハンドベルの「ジングルベル」が、聖なる夜を彩る音色を会場に響き渡らせ、開幕となりました。続いて、コントに繋がります。コントとは名ばかりで、実はある職員の結婚祝いをサプライズで利用者さんも一緒になってお祝いしました。H支援員ご結婚おめでとうございます。末永くお幸せに！ 次に、ものまねクイズでは、職員がとある職員のものまねをし、利用者の皆さんにあててもらった参加型の出し物でした。あるある～と思える仕草や特徴を披露し、皆さんに楽しんでいただきました。パネルシアターでは、子供向きではあるものの、利用者の心を鷲掴みする歌や絵人形を用いて物語へ誘うことができ、よかったと思います。一年間の思い出を写真でふりかえった後、絢香さんの「にじいろ」の曲に合わせて利用者さん全員の一人一



人の笑顔の写真を映しました。来年はさらに、たくさんの利用者さんの笑顔で溢れる一年になるようにと思いました。いよいよメインイベントである劇です。今年の内容は「因幡の白うさぎ」です。例年のごとく、本来の因幡の白うさぎとは少し違った、こいしろの里オマージュ作品となりました。少しシリアスな展開の中で個性豊かなキャラクターを職員が演じ、利用者さんは興味津々にみえました。利用者や保護者の皆さんにも精神薬について関心を持っていただけたら幸いです。

全ての出し物が終了し、どの利用者さんも楽しんでおられる様子でとても嬉しかったです。来年は今年よりももっとたくさんの利用者さんの笑顔がみられるような楽しいイベントを考えていき、さらに余暇活動を充実させていけたらいいなと思います。

参加していただいた保護者の皆様、関係者の方々本当にありがとうございました。また来年度もよろしくお願い致します。





最高のクリスマス会だったよ！



毎年恒例の「もちつき大会」が12月29日に開催されました。今年は快晴の空のもと施設食堂前のテラスに利用者が集合し、全員参加の盛大なもちつき大会となりました。

正月にふさわしい盛り上がる音楽と共に餅付き・手返しをする職員が入場し、まずは職員が小付きを行いました。その後、職員がサポートして利用者さんのみなさんが力強く杵を「よいしょー！ よいしょー！」と大きな声を出しながら振り下ろし餅をついてくれました。

みなさんが力強くついたお餅は餅作り班へ運ばれ青のり餅、大根おろし餅、きなこ餅、よもぎ餅の4種類が出来上がりみなさんの元へと提供されました。出来上がったお餅は「美味しい、美味しい」と喜びペロリとたいらげました。

正月の行事を行うことで普段経験できない事を通し沢山の笑顔を見ることが出来ました。みなさんにとっていい思い出の1日になったことだと思います。



早めの連絡のお願い

当施設のパブリックスペース（共有の場所）には「安心安全カメラ」があり、これは24時間の稼働で1週間の録画が残ります。これまでこのカメラは多岐にわたって活用されており、とりわけ利用者の「忘れ物」、たとえばどの時点のどこで靴下を脱いだかなどを確認するには大変効果がありました。

また、利用者の体にある打撲痕を調査する場合にもたいへん有効です。当施設の利用時にはその点は説明しているのですが、改めてここに説明をしておきます。ときおり保護者の方から「うちの子に殴られたような痕がある」との疑問がよせられることがありますが、そうした場合、前述したように少なくともそういった痕跡を確認された場合、少なくとも1週間以内であれば録画映像によってそうした出来事の真偽が明確になることがあります。逆にいえば1週間以上経過した時点で指摘されても事実確認ができません。

よって虐待に類する行為については早期の指摘が必要です。事実確認をする上で早期の指摘が重要な要素になることをご了承下さい。

今年は当法人が飛躍する年となる事業が展開していきます。

まず、防災食の缶パン工場を建設し稼働させます。

昨今、就労系施設の撤退などがうわさされ、不安視される在宅の方々から、「社会福祉法人で作ってくれないの？」と要望が多く寄せられました。

これは、2016年ごろから言われてきた「悪しきA型」の影響により、国が対策を打ち始め2018年度からは、新基本報酬に替わることが見込まれるため、対策として企業型の就労A型が撤退する可能性があるからだと思います。

そこで当法人は、北海道にある「社会福祉法人江差福祉会」様のサポートを受け、缶パン作業を作っていく予定です。



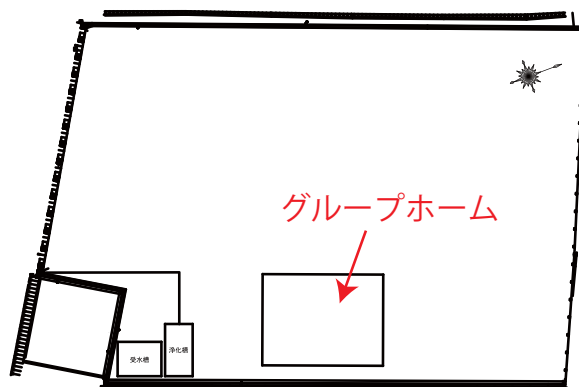
「悪しきA型」というのは？

1. 継続的に収益の上がない簡単な、達成感のない仕事を提供し続けている。
2. 利用者の要望にかかわりなく、一律短時間雇用としている。
3. 不十分な職員配置、施設環境で経費を節約し、サービス報酬費を賃金に充当している。
4. 助成金（特開金）が切れる時期に退職に追い込む。

次にグループホーム（共同生活援助）です。

当法人本体施設「こいしろの里」の前の大きな鉄柱のある土地にグループホームを建設中です。

こちらは、現在のグループホーム「こいしろ」の改善点を修正及び改良することでより良い建屋になっています。



社会福祉法人江差福祉会様とは

社会福祉法人 江差福祉会は、平成元年、福祉サービスを必要とする者が心身ともに健やかに育成され、又は社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられると共に、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、地域において必要な社会福祉サービスを総合的に提供されるよう援助することを目的とした知的障害者の援護施設の設立のため発足されました。

現在は、障害者の就労支援、事業の広域化に力を入れています。



〒043-0023

北海道松山郡江差町田沢町 542-3

<http://esashi-fukushikai.com/index.html>

募集 職員 利用者

職員



見学・体験は
随時受け付け中！

・パン工場職員（松阪市内）
給料：174,000円～250,000円
賞与：4か月／年（前年実績）

・支援員（松阪市内）
給料：175,000円～
賞与：4か月／年（前年実績）

待遇：交通費、住宅手当など各種手当あり。
社会保険完備。退職金制度あり。



就労支援 B 型

就労継続支援 B 型事業所
来春OPEN！！

- ・作業内容：パン工場製造
 - ・場所：松阪市上川町
 - ・時間：9：00～16：00
- 勤務時間は変わることがあります。



就労継続支援 B 型事業所
・作業内容：内職作業（タッパ組み立て等）
・工賃例：1か月1万円程度
作業は職員がていねいに教えます！！
・場所：松阪市稲木町
作業の他にも楽しいイベントもあるよ。



生活介護



生活介護は、地域生活ができるようにさまざまな体験、経験をすることによって充実した生活が送れるよう支援しています。できることを増やすことによって、地域生活へ向けて自立を目指します。

放課後等デイサービス



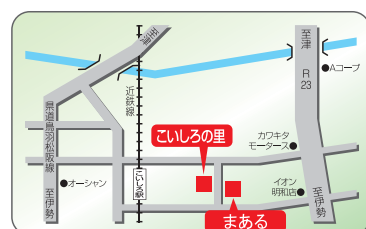
学就支援：学びを「できる」に、作るを「就る」へのびのびと遊びながら学び、年齢に合わせて心身ともに成長をサポートします。

説明会を行います！

事前に 0598-28-4835 へお気軽にご連絡ください！ 受付：小林広尚

2月10日（土）10時と13時30分、2回開催
2月24日（土）10時と13時30分、2回開催
3月3日（土）10時と13時30分、2回開催
3月17日（土）10時と13時30分、2回開催

社会福祉法人ベテスタ
障害者支援施設
こいしろの里
〒515-0212 松阪市稲木町 1008
TEL: 0598-28-4835



※近鉄「湊代（こいしろ）駅」から徒歩5分

ベテスタ

検索